

「情報公開文書」

受付番号： 受付-41594

課題名：死後画像を用いた義歯と顎骨の適合に関する三次元的検討

1. 研究の対象

2009 年 5 月～2027 年 3 月に東北大学大学院医学系研究科・医学部 公衆衛生学専攻
法医学分野にて法医解剖実施の際にエックス線 CT 撮影が行われた義歯を所有する症例

2009 年 5 月～2027 年 3 月に東北大学大学院医学系研究科・医学部 公衆衛生学専攻
法医学分野にて法医解剖実施の際にエックス線 CT 撮影が行われた歯牙欠損症例

2. 研究期間

2025 年 8 月（研究実施許可日）～2027 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2025 年 8 月 20 日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

歯科的個人識別は生前と死後の歯科治療痕の有無を比較する方法が一般的であり、平成 24 年 10 月の宮城県警察本部の報告では東日本大震災時の当県身元判明者のうち 9.5%は歯科的所見によるものであった。無歯顎の場合は、情報量が乏しくなり歯科的個人識別を行うことが困難となるが、義歯がある場合は修復痕や形態等の情報を用いることが可能となる。また、口腔内に義歯が適合することも重要視される。

しかし、腐敗や白骨化等で軟組織を欠いた症例の場合は、生前の義歯作成時の口腔内とは形態が異なるため評価が困難となる。今回、法医解剖前画像（死後 CT 画像）を利用し、顎骨表面形態と義歯内面形態の三次元的データを相同モデル化し、主成分分析を行うほか顎骨-義歯間距離を測定することで、義歯所有者顎骨と所有義歯の形態類似性を科学的に評価し、義歯による個人識別法が可能か検討する。

5. 研究方法

法医解剖時に撮影された X 線 CT データより対象症例を選択する。所有義歯は X 線 CT（64 列同時撮影マルチスライス CT：Toshiba, Japan）撮影または光学スキャン（Artec Space Spider：Artec3D, Luxembourg）を実施し、表面形状情報を得る。相同モデル化には 3D 解析ソフトウェア（mHBM：国立研究開発法人産業技術総合研究所, 日本、HBM-Rugle：株式会社メディックエンジニアリング, 京都）、形態類似性の分析には

mHBM-Rugle と HBS (Human Body Statistics : 国立研究開発法人産業技術総合研究所, 日本)、エクセル統計 (株式会社社会情報サービス, 日本)、R 言語 (version4.0.2, R Development Core Team)、系統樹作成ソフトウェア SplitsTree4 (version4.19.2, Daniel H. Huson and David Bryant) を使用する。また、顎骨-義歯間距離は 0~10mm を 1mm 間隔で%表記し、各距離間隔を Smirnov-Grubbs 検定 ($P<0.05$)、使用ソフトウェア Microsoft Excel (Microsoft® Excel® for Microsoft 365 MSO (バージョン 2504 ビルド 16.0.18730.20122) 64 ビット) を用いて評価する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：剖検体(法医解剖症例)CT データ、
剖検体付属義歯 CT データ・光学スキャンデータ

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営費交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。研究対象者の代理人及び代理人の方には帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方や代理人の方に不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学歯学研究科歯科法医学情報学分野 吉田 貴恵

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1

連絡先：022-717-8269

研究責任者：東北大学歯学研究科歯科法医情報学分野 鈴木 敏彦

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合